

意匠の理論と実務

一意匠の出願戦略と類否判断を中心に

日時

平成28年 8月5日 (金)
10:00~16:10 (開場9:30)

元特許庁審査長・審判長の講師が、最近の判決例に基づいて解説!

本セミナーにおいて、意匠の出願戦略に関して、技術の意匠による保護、関連意匠及び部分意匠の活用を、最近の判決例に基づいて解りやすく具体的にご説明いたします。

意匠の類否判断の手法に関しては、審決取消請求事件・意匠権侵害事件における類否判断の手法の相違、形態の評価、意匠の要部認定について、多くの判決例を題材としてご説明いたします。

意見書の作成においては、新規性に関する意見書、近年増加傾向にある創作非容易性に関する意見書の作成について、その具体例によりご説明いたします。また、作成上の留意点についてもご説明いたします。

是非、この機会に多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

日本弁理士会会員の皆様へ

(一財)経済産業調査会は、日本弁理士会の継続研修を行う外部機関として認定されています。
この研修は、日本弁理士会の継続研修として認定を申請中です。
この研修を修了し、所定の申請をすると、5単位が認められる予定です。

講師: 鈴榮特許総合事務所 理事・弁理士 **吉田 親司 氏**

日本弁理士会 弁理士実務修習講師 (元 特許庁審査長・審判長)

参加料: 各1名につき(資料代・消費税込)

特別会員	普通会員・ 知財会員	特許ニュース 購読者	一 般
10,000円	15,000円	18,000円	23,000円

場 所:

銀座会議室(三丁目) 2階A室

東京都中央区銀座3-7-10 松屋アネックスビル
(東京メトロ銀座線・日比谷線銀座駅下車A12番出口
より徒歩約2分)

意匠の理論と実務 プログラム

1. 意匠の出願戦略

- (1) 技術の意匠による保護
- (2) 画像の保護
- (3) 部分意匠
- (4) 関連意匠
- (5) 分割出願
- (6) 変更出願

2. 意匠の類否判断の手法

- (1) 判決に見る意匠の類否判断
- (2) 物品の類似
- (3) 類否判断の主体
- (4) 意匠の要部
- (5) 形態の類否判断

3. 創作非容易性の判断の手法

- (1) 判決に見る創作非容易性の判断
- (2) 新規性判断との相違点
- (3) 例示意匠との関連性の判断

4. 新規性に関する意見書の作成

- (1) 基本的構成態様に特徴がある場合
- (2) 基本的構成態様がありふれたものであり、具体的態様に特徴がある場合

5. 創作非容易性に関する意見書の作成

- (1) 創作非容易性の意見書作成上の留意点

最新のセミナー情報がご覧になれます
<http://www.chosakai.or.jp/seminar/seminar-annai.htm>

経済産業調査会 セミナー

検索



最新のセミナー情報等を発信しています。是非、フォロー&リツイートお願いします。

「意匠の理論と実務」参加申込書 (H28.8.5開催)

ご所属名・部課名		電話
		FAX
ご住所 〒		
参加者		
お名前	E-mail	

お名前	E-mail	

お名前	E-mail	
備考欄		
申込先	FAX : 03-3535-4884 E-mail : seminar@chosakai.or.jp	一般財団法人 経済産業調査会 〒104-0061 東京都中央区銀座2-8-9 電話 03-3535-4881

◎お申込時にいただきました個人情報につきましては、本講座の実施、運営に利用させていただくとともに、新刊書やセミナー・講演会等の各種ご案内など当会の事業活動に限って使用させていただきます。また、本講座の講師にお客様の「所属先」、「部署名(役職名)」、「氏名」等をお知らせさせていただきます。本件に関し、不都合がございましたらご連絡ください。

◎参加をキャンセルされる場合は、研修会開催日の前々日(土日祝祭日は除く)の17:00までに、必ずメールにてご連絡ください。期限内にキャンセルのご連絡がなく、当日、欠席された場合は、テキストを送付の上、参加料を全額請求させていただきます。なお、代理出席は可能です。